

2024年3月期第2四半期(4-9月)
決算説明資料
2023年11月10日

株式
会社 **加藤製作所**

I. 2024年3月期 第2四半期 連結決算概要

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 連結業績サマリー | P.2～3 |
| 2. 連結業績推移、四半期売上高推移 | P.4～6 |
| 3. 連結損益計算書 | P.7 |
| 4. 営業損益の増減分析 | P.8 |
| 5. 連結貸借対照表 | P.9 |
| 6. 連結キャッシュ・フロー計算書 | P.10 |
| 7. 連結主要品目別売上高推移 | P.11 |
| 8. 連結仕向地別売上高(日本除く) | P.12 |

II. 2024年3月期 連結業績予想

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 2024年3月期連結業績予想 | P.13 |
|-------------------|------|

III. TOPICS

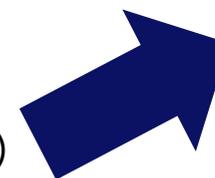
- | | |
|-----------|---------|
| 1. TOPICS | P.14～15 |
|-----------|---------|

連結業績サマリー

売上高

29,568 百万円

(前年実績26,171百万円、前年同期比増減率13.0%)



営業利益

800 百万円

(前年実績301百万円、前年同期比増減率165.6%)



経常利益

1,604 百万円

(前年実績999百万円、前年同期比増減率60.5%)



親会社株主に帰属する
当期純利益

2,521 百万円

(前年実績953百万円、前年同期比増減率164.6%)



①売上高および収益の状況

- 国内売上高（18,966→19,947百万円、 5.2%の増収）
海外売上高（ 7,205→ 9,621百万円、 33.5%の増収）
海外売上高比率が27.5%→32.5%と海外が全体の売上および収益をけん引
- 収益性改善と円安効果もあり、営業黒字が定着化

②セグメント(製造拠点)別状況

- 日本：国内向けは堅調に推移、輸出向けは欧米の好景気や需要増、
為替の影響などで好調に推移
- 中国：厳しい販売環境の継続により、前年度比減収
- 欧州：堅調な需要に支えられ増収

※米州には日本からの輸出版売のみで製造拠点はございません

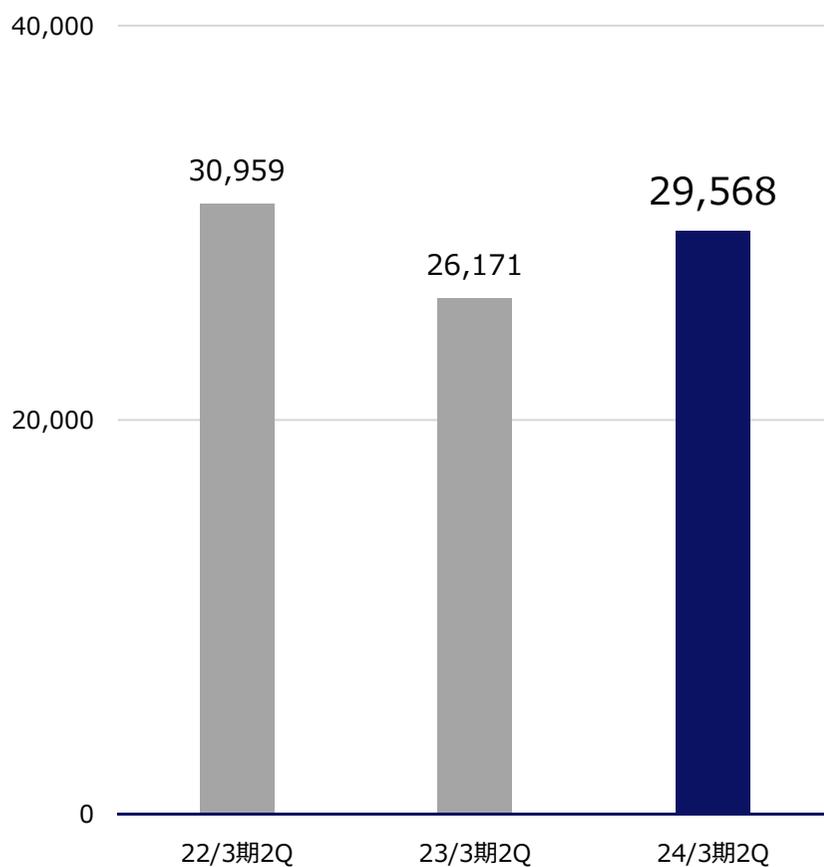
連結業績推移



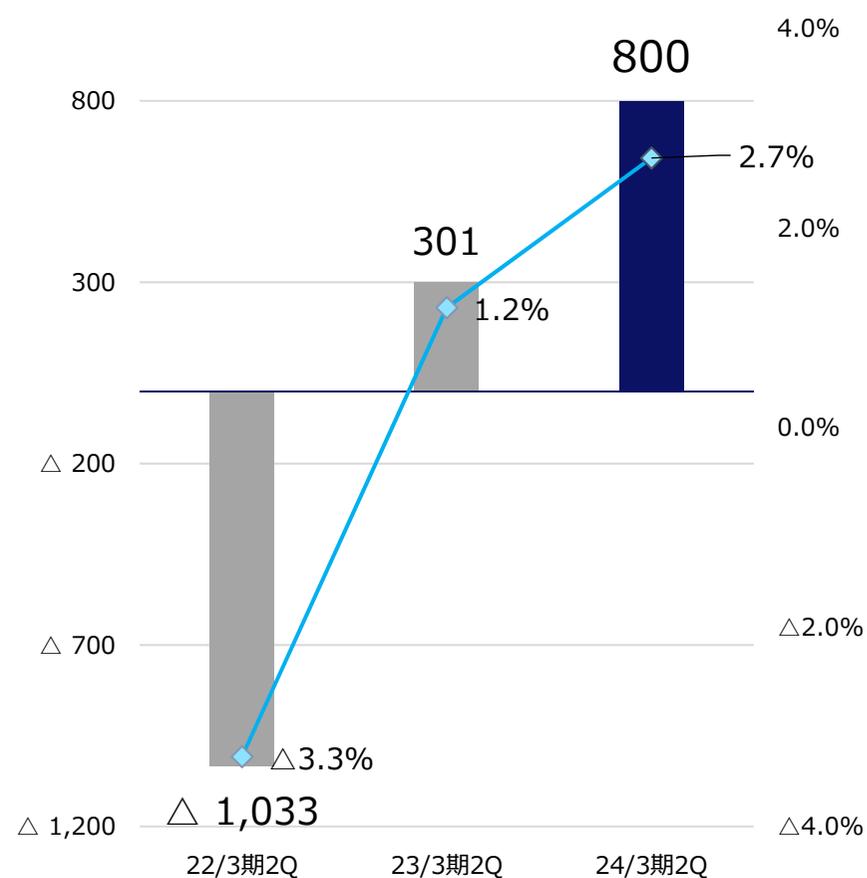
進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率

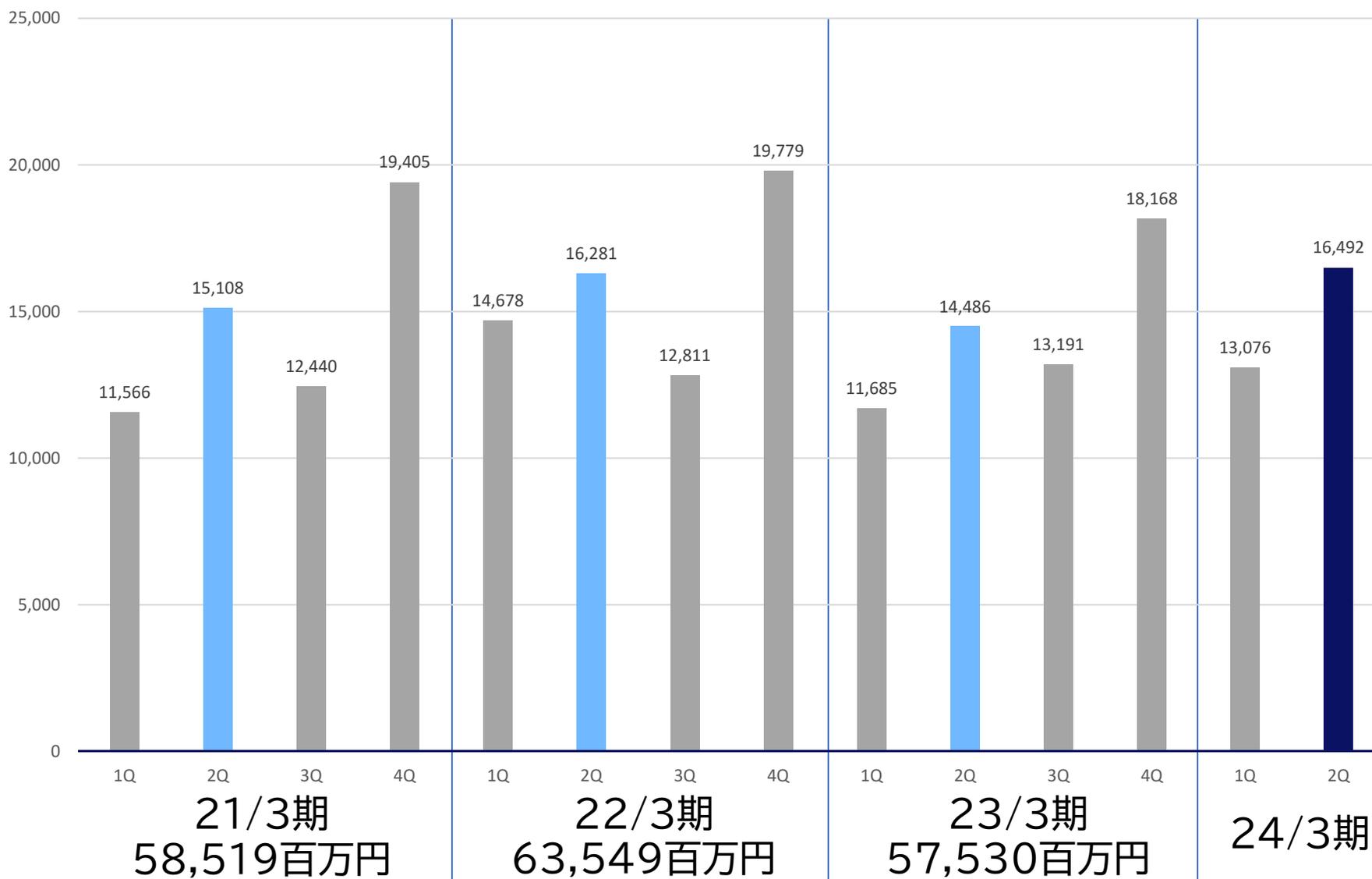


連結業績推移(四半期毎の売上高推移)



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)



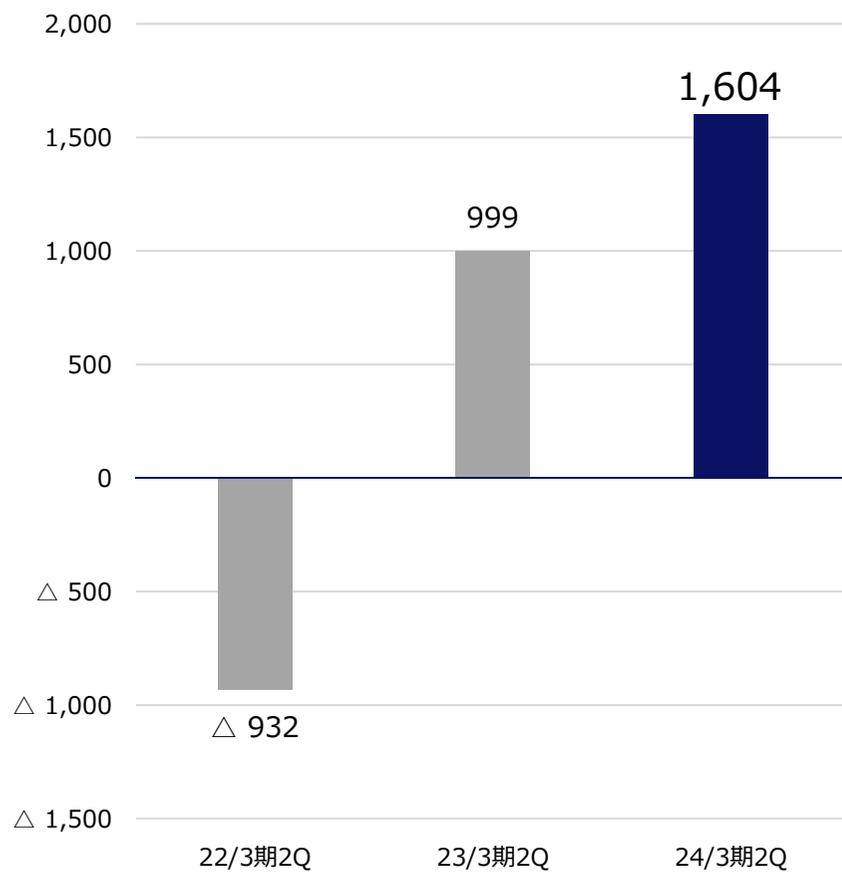
連結業績推移



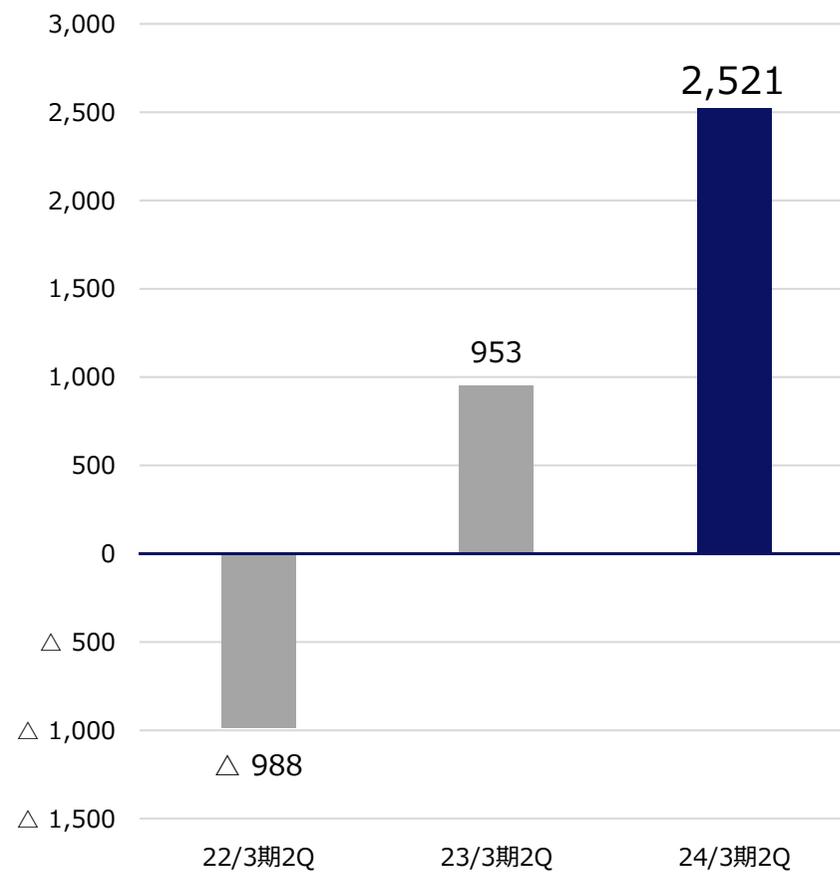
進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

経常利益



親会社株主当期純利益



連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	26,171	100.0%	29,568	100.0%	3,396	13.0%
売上原価	22,061	84.3%	24,458	82.7%	2,397	10.9%
売上総利益	4,109	15.7%	5,109	17.3%	999	24.3%
販管費	3,808	14.6%	4,309	14.6%	500	13.1%
営業利益	301	1.2%	800	2.7%	498	165.6%
営業外損益	698	2.7%	804	2.7%	106	15.2%
経常利益	999	3.8%	1,604	5.4%	604	60.5%
特別損益	0	0.0%	1,255	4.2%	1,255	-
税前利益	999	3.8%	2,859	9.7%	1,860	186.1%
法人税等	53	0.2%	372	1.3%	319	603.4%
非支配株主当期純利益	△ 6	0.0%	△ 35	△0.1%	△ 28	-
親会社株主当期純利益	953	3.6%	2,521	8.5%	1,568	164.6%

売上原価率の改善

84.3% → 82.7% (1.6ポイント改善)
中期経営計画にて掲げた施策が奏功し原価率改善

販管費の増加

国内外の営業促進費用の増加200百万円および
給与・賞与等前期削減からの回復207百万円によるものが主因

特別損益の発生

タイの工場設備売却益による

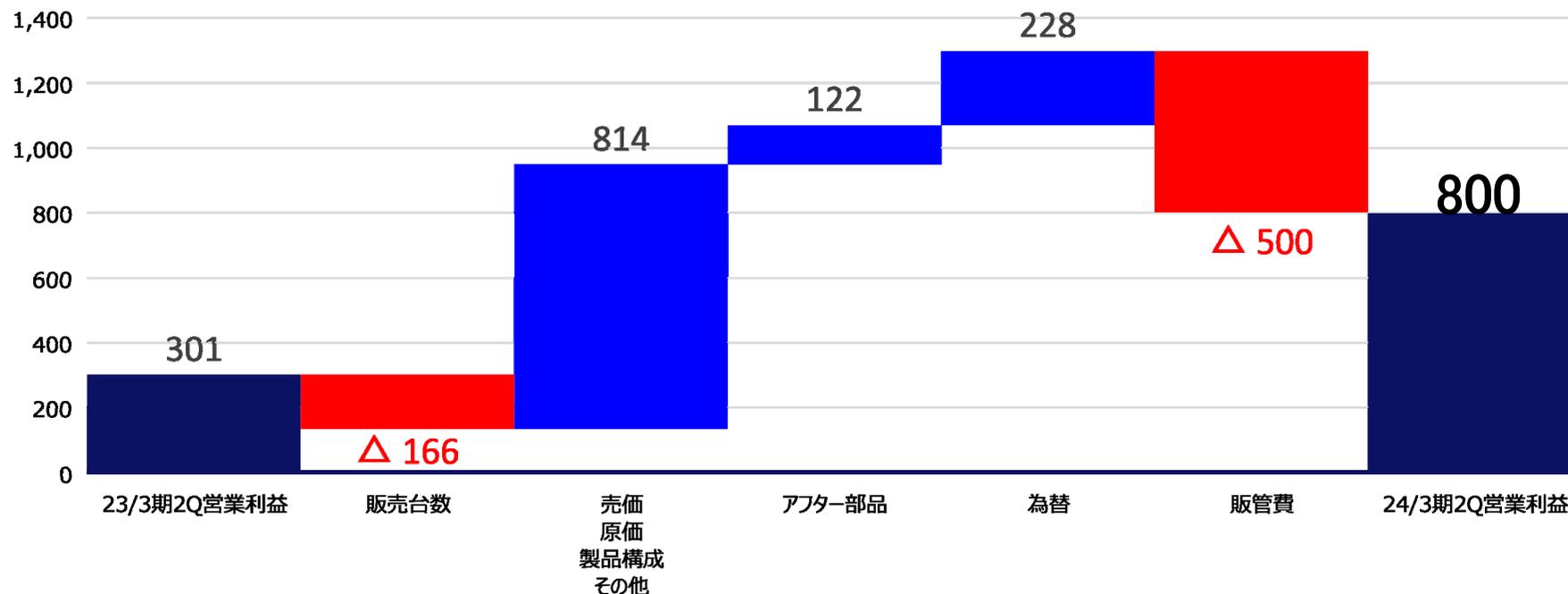
※2023年2月13日に公表済み

営業損益の増減分析



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)



営業損益増減要因

- ・販売台数の減少により Δ 166百万円
- ・売価/原価/製品構成/その他の変動により 814百万円
- ・アフター部品の販売強化により 122百万円
- ・為替の変動により 228百万円
- ・販管費の増加により Δ 500百万円

800 百万円
前年同期比+499百万円

連結貸借対照表



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

		2023年3月期		2024年3月期 第2四半期		前期末比		
		金額	比率	金額	比率	増減額		
資産の部	流動資産	手許資金	19,977	20.2%	19,967	20.2%	△ 10	<p>売上債権は減少(△235) 25,060百万円 → 24,824百万円 回転期間 23/3期159日→24/3期2Q153.2日</p> <p>棚卸資産は増加(+827) 31,583百万円 → 32,410百万円 回転期間 23/3期200.4日→24/3期2Q200日 棚卸資産増加、回転期間は同水準</p>
		売上債権	25,060	25.4%	24,824	25.1%	△ 235	
		たな卸資産	31,583	32.0%	32,410	32.8%	827	
		その他	△ 948	△1.0%	△ 1,042	△1.1%	△ 93	
	流動資産計	75,672	76.6%	76,160	77.1%	487		
	固定資産	有形固定資産	19,131	19.4%	18,286	18.5%	△ 844	
		無形固定資産	414	0.4%	491	0.5%	76	
投資その他の資産		3,580	3.6%	3,792	3.8%	212		
固定資産計	23,126	23.4%	22,570	22.9%	△ 556			
資産合計	98,799	100.0%	98,731	100.0%	△ 68			
負債・純資産の部	負債	仕入債務	13,942	14.1%	14,443	14.6%	500	<p>有利子負債は減少(△4,951) 34,379百万円→29,427百万円 長期借入金の返済に伴う減少</p>
		有利子負債	34,379	34.8%	29,427	29.8%	△ 4,951	
		その他	3,571	3.6%	4,941	5.0%	1,370	
	負債計	51,893	52.5%	48,812	49.4%	△ 3,080		
	純資産	利益剰余金	30,781	31.2%	32,952	33.4%	2,170	
		評価換算差額等	4,901	5.0%	5,720	5.8%	819	
		その他	11,223	11.4%	11,245	11.4%	22	
純資産計	46,906	47.5%	49,918	50.6%	3,012			
負債・純資産計	98,799	100.0%	98,731	100.0%	△ 68			

連結キャッシュフロー計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

		2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	
		金額	金額	
営業キャッシュフロー	税前利益	999	2,859	営業CF 収益増加と売掛金の回収により営業CFは2,854百万円
	減価償却費	806	696	
	売上債権増減額	3,730	1,009	
	たな卸資産増減額	△ 2,097	△ 240	
	仕入債務増減額	1,858	50	
	その他	△ 1,531	△ 1,521	
	営業キャッシュフロー計	3,765	2,854	
投資キャッシュフロー	固定資産取得	△ 85	△ 401	投資CF タイの工場設備売却
	固定資産売却	46	1,942	
	その他	20	△ 115	
	投資キャッシュフロー計	△ 19	1,426	
財務キャッシュフロー	有利子負債増減額	△ 2,825	△ 4,287	財務CF 長期借入金の返済
	その他	△ 143	△ 367	
	財務キャッシュフロー計	△ 2,969	△ 4,654	
増減額	換算差額	182	163	
	増減額計	959	△ 210	
現金及び現金同等物の期首残高		18,669	19,977	
現金及び現金同等物の期末残高		19,628	19,767	

連結主要品目別売上高推移

KATO

進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	14,074	45.5%	14,275	54.5%	15,682	53.0%	1,406	9.9%
海外売上高	3,212	10.4%	1,772	6.8%	2,525	8.5%	753	42.5%
計	17,286	55.8%	16,047	61.3%	18,207	61.6%	2,160	13.5%
油圧ショベル等								
国内売上高	6,241	20.2%	4,168	15.9%	3,950	13.4%	△ 218	△5.2%
海外売上高	6,955	22.5%	5,432	20.8%	7,049	23.8%	1,616	29.8%
計	13,196	42.6%	9,600	36.7%	10,999	37.2%	1,398	14.6%
その他								
国内売上高	474	1.5%	522	2.0%	314	1.1%	△ 207	△39.7%
海外売上高	0	0.0%	0	0.0%	46	0.2%	45	
計	475	1.5%	523	2.0%	361	1.2%	△ 161	△31.0%
合計								
国内売上高合計	20,790	67.2%	18,966	72.5%	19,947	67.5%	981	5.2%
海外売上高合計	10,168	32.8%	7,205	27.5%	9,621	32.5%	2,415	33.5%
計	30,959	100.0%	26,171	100.0%	29,568	100.0%	3,396	13.0%

建設用クレーン



国内：緩やかな景気回復基調にともない堅調に推移
海外：東南アジア中心に営業強化

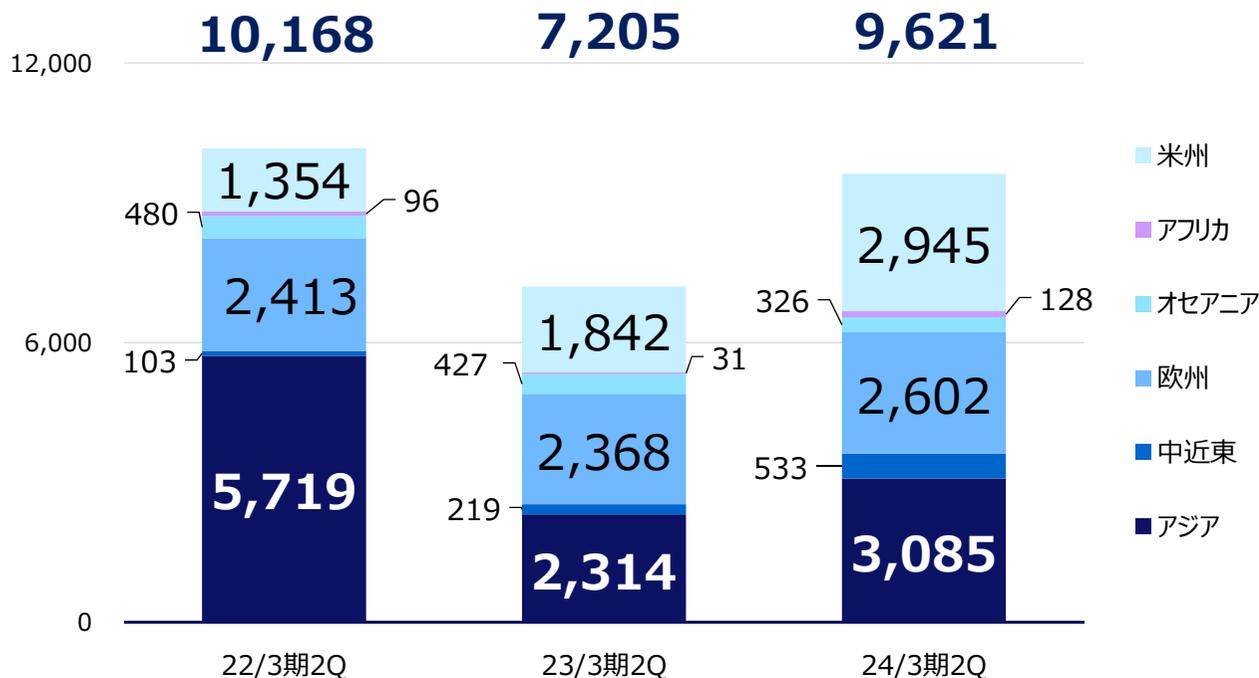
油圧ショベル等



国内：競争激化により売上は減少
海外：主として米州市場がけん引

連結仕向地別売上高(日本除く)

(単位：百万円)



アジア(前年同期比+33.3%)
2,314 → 3,085 (+770)
中国での売上減少の一方でその他アジア地域で回復

欧州(前年同期比+9.9%)
2,368 → 2,602 (+233)
堅調な建設需要に支えられ増加

米州(前年同期比+59.9%)
1,842 → 2,945 (+1,103)
北米でのインフラ整備の需要増や好景気継続により増加

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比		総売上高構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	5,719	56.2%	2,314	32.1%	3,085	32.1%	770	33.3%	10.4%
中近東	103	1.0%	219	3.1%	533	5.5%	313	142.5%	1.8%
欧州	2,413	23.7%	2,368	32.9%	2,602	27.0%	233	9.9%	8.8%
オセアニア	480	4.7%	427	5.9%	326	3.4%	△101	△23.8%	1.1%
アフリカ	96	0.9%	31	0.4%	128	1.3%	96	304.5%	0.4%
北米・中南米	1,354	13.3%	1,842	25.6%	2,945	30.6%	1,103	59.9%	10.0%
海外売上高合計	10,168	100.0%	7,205	100.0%	9,621	100.0%	2,415	33.5%	32.5%

2024年3月期通期連結業績予想



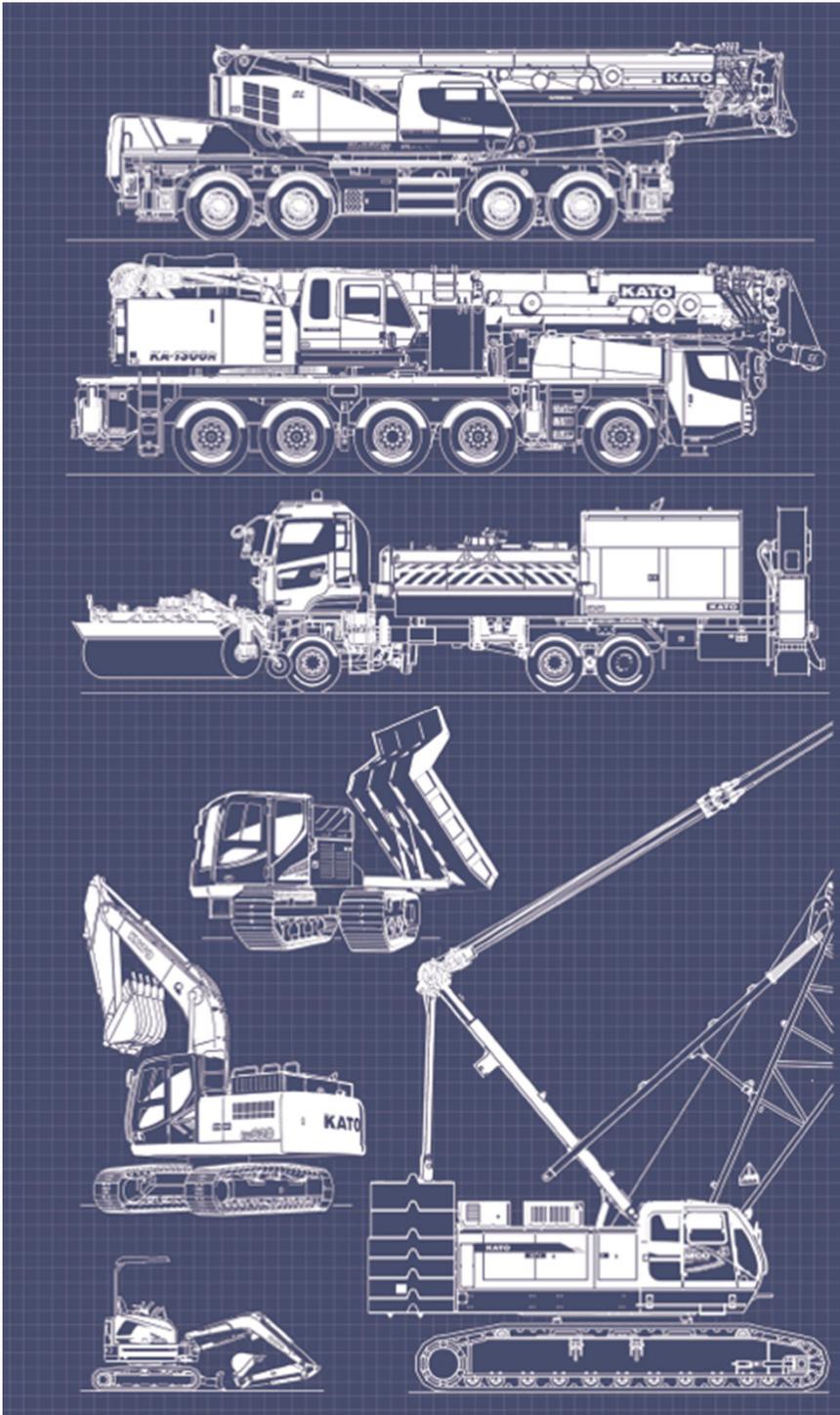
進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

2024年3月期通期連結業績予想および配当金につきましては従前のものから変更はございません。
 今後は、中期経営計画に掲げた各施策の取り組みに加え、
 飛躍に向けた新製品開発や建設需要が旺盛なアジア地域での販路拡大などに注力してまいります。
 なお、業績予想に変更がある場合は速やかに公表いたします。

連結業績予想	2023年3月期		2024年3月期(予想)	
	金額	比率	金額	増減率
売上高	57,530	100.0%	60,000	104.3%
営業利益	1,258	2.0%	1,200	95.4%
経常利益	1,865	3.0%	900	48.3%
親会社株主当期純利益	2,403	4.0%	2,000	83.2%

株主還元		2023年3月期	2024年3月期
1株当たり 配当金	中間	0.00円	20.00円
	期末	30.00円	20.00円 (予想)
	年間	30.00円	40.00円 (予想)



TOPICS

自動運転



路面清掃車自動運転実証実験を開始

中部国際空港（愛知県常滑市）制限区域内での路面清掃車自動運転実証実験を開始いたしました。（加藤製作所、新明工業、中部国際空港、日野自動車 合同）

滑走路や誘導路を含む空港制限区域における路面清掃車として、自動運転車日本初導入。自動運転（レベル 2 相当）※①に対応した小型トラックをベースに、自動運転と路面清掃の技術連携により高機能化させた路面清掃車（真空吸込式）を使用。

※① レベル 2 相当：ドライバーが周辺監視を行い、特定条件下での自動運転機能（高機能化）

SDGs・ESG



サステナビリティサイト開設

当社は、「優秀な製品による社会への貢献」を経営理念に掲げ、各種荷役機械・建設機械・産業機械を製造・販売し、長きに亘り事業を通じて人々の生活を豊かにしていくお手伝いをしてまいりました。

近年、地球温暖化をはじめとする環境問題への危機意識が高まっており、持続可能な社会の実現に向けた各企業の積極的な取組みが求められております。2023年、社長を委員長とするサステナビリティ委員会を新設いたしました。また同委員会の直下に「環境」「人事」の2つの分科会を立ち上げ、それぞれのテーマに対し中長期的な視点に立った施策の立案と進捗管理を行っております。同サイトでは両分科会の活動内容に加え、ESGへの取組みや各種データ等を随時更新していく予定です。

新製品



全旋回式クローラキャリア「IC70R」発売

高い安全性と輸送性を持ち合わせた、当社初の全旋回式クローラキャリア「IC70R」を2023年5月に発売いたしました。

安全面では低重心設計と制御機能により、転倒事故などのリスクを低減しています。また運転席から直視できる範囲を広げ、視認性を大きく向上させたことにより、安全に作業を行うことができます。

本機では、従来機の基準である特定特殊自動車排出ガス2014年基準および北米Tier4排出ガス規制対応に加え、2019年から規制開始となった欧州における排出ガス規制、欧州Stage Vに適合しており、更なる環境への配慮を加速させています。

注意事項・お問合せ先



本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

お問合せ先

株式会社加藤製作所

コーポレートコミュニケーション部

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37

E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp